



ブログ講座 -第3回-

ターゲットの設定のやり方

&文章を書くときのポイント

2023.5.9



-この講座で学習できること-

- ①ターゲット設定のやり方
- ②検索キーワードの選び方
- ③文章を書くときのポイント



①ターゲット設定のやり方

WEB業界用語でターゲットのことをペルソナ**と**いいます。

このペルソナの設定がブログにおいては
もっとも重要です！

ペルソナが明確だとブログのアクセスが
伸びます！



ブログ講座 -第3回-

ペルソナ設定のやり方

基本的なペルソナ設定のやり方は、

年齢・性別・趣味・仕事・誕生日・年収・
住所...などを明確にして設定します。

ただ、このやり方だとイメージが湧きづらい
と思います。



ペルソナ設定のやり方

例えば、「24歳の男性で、趣味はサッカー。
誕生日は6月23日で埼玉県に在住」

などと考えたとしても、「え？誰それ？」って
感じになりませんか？

なので、ペルソナの設定は難しく考える必要が
ありません。



ペルソナ設定のやり方

歌手の宇多田ヒカルさんは、「時代や社会に向かって歌ったことはない。つねに部屋でひとりヘッドホンをつけている【誰か】に向けて歌っている」といいきっていたそうです。

まさにこれが本質です。ペルソナは常に1人で良くて、大切なことは「**相手のイメージが鮮明であること**」です。



ペルソナ設定のやり方

ブログを書く際に、相手の年齢を思い浮かべたり、
職業をイメージしたりしても...ぶっちゃけ本質じゃ
ないです。

考えるべきは1つだけでして、**「相手の顔が見えているか」**
になります！



なので、

ペルソナ = **過去の自分** or **身近な友人**

でOK!



ブログ記事のペルソナを作成する手順

- 手順①：キーワードを決める
- 手順②：読者の顔を思い浮かべる
- 手順③：読者の心の声を聴く



手順①：キーワードを決める

キーワード設定は必須です。

「狙うキーワードを決めること＝記事の目的を決めること」なので、キーワードが決まっていないと、目的のない記事が生まれるだけです。



ブログ講座 -第3回-

手順①：キーワードを決める



上記の感じで、Googleの検索窓にキーワードを打ち込む感じでOKです。キーワードを眺めつつ、これならいけそうだな、というのを選びます。



ブログ講座 -第3回-

手順②：読者の顔を思い浮かべる

読者の顔が、ずばり「過去の私」です。

社会人になってから約1年半コーヒー店で働き、その後スターバックスで働きはじめて、今5年目になります。

コーヒーが大好きで、1日に3～5杯は余裕で飲めちゃいます。Kirattに勤務するまでは、出勤した日はもちろんですが、自宅でも朝と夜に毎日淹れて飲んでいました。



手順③：読者の心の声を聴く

当時の自分を思い浮かべつつ、心の声を聴きましょう。
具体的には、次のような感じです。

「歯黄ばんでるな」って姉によく言われるけど、そんなに黄ばんでるんやろか？みんな似たようなもんじゃないか？
コーヒーってそんなに歯を黄ばませるんけな？市販のホワイトニング歯磨き粉とかでなんとかならんのかね。



手順③：読者の心の声を聴く

心の声は「できる限り鮮明」だとベストです。

私の心の声は「よる寝る前に、姉に言われた言葉を思い浮かべながら入念に歯磨きをしている過去の私」が発している声です。



ペルソナが完成したら、 ペルソナ救済の文章を書くだけ！

今回の例だと、『「歯黄ばんでるな」って姉によく言われるけど、そんなに黄ばんでるんやろか？みんな似たようなもんじゃないか？コーヒーってそんなに歯を黄ばませるんけな？市販のホワイトニング歯磨き粉とかでなんとかならんのかね。』

と悩んでいる自分に対するアドバイスです。

ペルソナが明確だと、文章に愛をこめて執筆できると思います☆



ブログ講座 -第3回-

過去の自分が悩んでいたことや、身近な友人や家族が何気なく口にしていたことなどを思い出すとより書きやすくなるかと思います。

みなさんの場合は、実際にサロンに足を運んでくださっているお客様の生のお悩みの声をそのままブログにしてお答えしてもいいですね！

たった1人を救うために書く文章は、読む人の心に刺さりやすくなります。 1記事1記事に愛情をこめて書いていきましょう♪



③文章を書くときのポイント

◆一文は長くなりすぎないのがベスト！

→ほとんどの人は携帯でサイトを検索します。

携帯で一文が長い文章がでてくると文字で画面がびっしりになって、読む気をなくしてしまいます。

◆漢字：ひらがな = 3：7

→漢字だらけの文章は読みづらいですし、読んでて疲れます。

読み手の人が心地よく読める文章は、ひらがなが多めの文章です。



◆**難しい言葉 ⇨ わかりやすい言葉に**

→例えば「歯磨きを怠ると虫歯の原因菌の増殖を促進します。」

→「正しい歯磨きができていないと、虫歯の原因となる菌が増え続けることにつながります。」

◆**語尾は同じ言葉を重複しすぎない**

→「～です。」 「～です。」 「～です。」のように、同じ語尾ばかりの文章が続くことも読みにくさにつながってしまいます。



ブログ講座 -第3回-

例えば「歯を白くする方法としてホワイトニングがあります。」
「ホワイトニングには主に4つの種類あります。」 「順番にひとつ
ずつ解説していきます。」

「歯を白くする方法としてホワイトニングがあります。」
「ホワイトニングの種類は主に4つ。」
「順番にひとつずつ解説していきますね。」